

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)結果(平成19年度事業分)

施設名		山梨県立八ヶ岳少年自然の家				
指定管理者		(財)山梨県青少年協会				
指定期間		平成18年4月1日～平成21年3月31日				
施設の使命・役割(運営目標)		自然の中で、集団生活を通して自律、協同などを体験的に学習する場を提供すること。 主催事業の実施を通して、豊かな自然の中で情操を養い心身ともにたくましい少年を育成する機会を提供すること。				
指定管理者が行う業務		利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 野外観察、自然探究その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 体育、レクリエーション及び野外活動に関する業務 その他教育委員会が必要と認める業務				
維持管理業務の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	本館、キャンプ場、敷地内設備等の状況を把握し、確実に点検整備を実施した。法令等を遵守し、業務計画のとおり執行した。	概ね計画に基づき、適切に実施されていた。引き続き、協定書、事業計画書、施設管理業務仕様書、各法令等に基づく各業務を執行していくこと。				
運営業務の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	計画どおり実施した。利用する側の立場に立ち、公正を期し、利用における快適性や、また最大の効果が得られるように十分に考慮して運営した。	概ね良好に運営業務が執行されていた。引き続き、協定書、事業計画書、施設管理業務仕様書、各法令等に基づく各業務を執行していくこと。				
自主事業の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	派遣先あるいは利用者に対し、職員の持っている技術や丁寧な対応により充実した内容であった。	引き続き、事業計画書等に基づいた適正な業務執行に努めること。				
利用者満足度調査	調査結果	利用者の声				
	満足度 <平均満足度> 第1四半期 90点以上満足 72% 80点以上満足 25% 第2四半期 90点以上満足 69% 80点以上満足 28% 第3四半期 90点以上満足 69% 80点以上満足 28% 第4四半期 90点以上満足 95% 80点以上満足 5% 総合満足度 満足76% やや満足21% 不満3% 満足度評価値=76/(76+3)=96%	プログラム相談(事前打合せ)は、とても役立った。台風接近(大雨)のため、ねらいや目的が達成できなかった。 美し森ハイクで山の中の看板が見にくいものもあるので直してほしい。コマ図は分かりやすくなった。				
利用者満足度調査	評価	施設所管課の評価・指導内容				
	利用者からの要望・意見等を把握し、職員会議等において検討の上、早急な対応を行った。 プログラム相談は、利用する側の立場に立ち、かつ、最大の効果が得られるよう実施した。 悪天候時、特に台風や大雨の場合については、安全面を考慮し、プログラムの変更など団体に指導している。 絵図ハイクについては、活動前に職員が絵図の見方や注意事項などの説明を行っている。コース点検など随時行っている。	満足度評価値は96%と非常に高く、利用者の評価は良好であった。今後も、利用者からの要望・意見等を把握し、検討の上、早急な対応を行うこと。				
利用実績	利用者数	H18年度実績(人)	H19年度計画(人)	H19年度実績(人)	H20年度目標(人)	
	33,345	37,600	38,741	38,400		
利用実績	評価	施設所管課の評価・指導内容				
	リニューアル後、本館の利用は伸びている。今後は、キャンプ場の利用の増加を目指して取り組みたい。	利用者数は、平成19年度計画を上回る実績であった。引き続き、事業計画書等に基づいた各事業を経費節減、費用対効果に留意しながら創意工夫して行っていくこと。				
収支の状況	科目	H19年度計画額(円)	H19年度実績額(円)	差額(計画額-実績額)(円)	H20年度計画額(円)	
	収入	利用料金収入	4,360,000	3,864,860	495,140	4,470,000
		指定管理料	97,595,000	97,595,000	0	95,406,000
		その他収入	2,925,000	3,370,425	-445,425	1,986,000
		計	104,880,000	104,830,285	49,715	101,862,000
	支出	104,880,000	101,481,151	3,398,849	101,862,000	
差し引き(収入-支出)	0	3,349,134		0		
収支の状況	評価	施設所管課の評価				
	全体的にはほぼ計画通り執行できた。	引き続き、事業計画書等に基づいた各事業を工夫しながら実施し、経費節減、費用対効果に留意しながら運営していくこと。				
施設の運営目標の達成状況		H19 利用者数目標値 37,600 実績 38,741 H19 主催事業参加者数目標値 1,750 実績 1,934 運営目標2項目ともに目標値を上回ったので、目標を達成した。 主催事業参加者数は、予定定員数を大幅に上回る参加があった事業があった。				
総合的な評価及び改善事項		現地確認したところ、施設内外とも管理がよく行き届いていた。維持管理業務・運営業務については適正に実施されており、利用者満足度調査については評価(満足度)が良好であった。 引き続き、主催事業を工夫しながら実施し、経費節減、費用対効果に留意しながら、継続して積極的なPR活動を行うなど、利用者増加に向けて運営していくことが必要である。				